

研修で
学校が
変わる

中堅教諭等資質向上研修②

16年目研修① まとめ

令和3年6月10日（木）

Web会議による遠隔研修（各校）



「ICTを活用した双方向の授業づくり」

～イメージを共有しよう 1人1台端末の活用～

講師 中川 一史 氏（放送大学 教授）

【研修のねらい】

■ ICTを活用した双方向の授業の実際について理解し、授業力の向上を図る。

明日への想い

総合的な学習の時間で、jamboardを使用しているが、今後はスライドやドキュメントなどで共同作業でまとめ活動を展開できるように指導を行っていきたい。

jamboardが思考ツールとして魅力的だったので、実際に総合的な学習の時間で活用してみようと思った。また、タブレットが子どもたちにとって「あたり前」になることがキーワードだと分かったので、実際に活用できる機会を増やしていきたい。中川先生に紹介していただいたD-projectも参考にしていきたいと思った。

あたり前になったICTをどう教師が活用するか、生徒に活用させるかを考えさせられる時間となった。例えば、生徒の発表を動画に撮って、さらに良いものに修正させたい。

生徒にとってiPadが目新しいものではなくなるような活用の仕方をしていきたい。また、それぞれが工夫して活用していることを職員間で共有していきたい。

共有

たまに1台から

常時1台へ

占有

あたり前が進む

（そこにある 普段使い 授業以外使い）

日常的な活用
効果的な活用

教員の授業方法の改善
児童生徒の活用スキル向上

ICT活用効果
 y （効果）= x （時間）²

今後2極化に拍車がかかる

子どもも教師もタブレットを
どんどん使える学校

GIGAスクール再考

個別最適な
学び

相乗効果
を見通す

協働的な
学び

中川先生に紹介していただきました

<http://www.d-project.jp/>

D project 1人1台端末活用研修パッケージ

- ①まず先生が楽しむ研修に（60分）
- ②授業づくりのイメージを持つ研修に（90分）
- ③授業でどう使えるか考える研修に（90分）

明日への想い

必要に応じてタブレット端末を「活用できる」「判断できる」児童を育成したい。学級経営の大切な一部分としていきたい。

タブレット導入が始まって、すごく戸惑いながら子どもたちに使わせているが、徐々に私自身も子どもたちも慣れてきたように思う。中川先生のおっしゃる「目新しさ」を早く越え、何のためにタブレットやICTを使うのか、その本質的な部分をはっきりと持ちながら活用していきたい。

宿泊研修の調べ学習をさせたり、研修後にGoogleスライドでまとめをさせたりしたい。

効果的な活用だけでなく、まずは慣れるために様々な場面で使うことの有意義性を全校職員で共通理解して実践していきたい。やがてそれらの活動が効果的な活用を促進することにつながり、学校でも有効な活用とはどんな活用かを議論するくらい浸透させていきたい。